



今年度は約15万円（4名の学生の奨学金支援）を集めため日々活動しております。今年度も募金活動をメインに行い、現時点で目標金額の3割ほどの資金が集まっています。残りの金額も楽しみながらしっかりと集めていこうと思っています。また今年度で中学生の頃から支援していたカンボジアの学生が高校を卒業予定です。少し寂しい気持ちもありますが、自分たちの力で卒業まで支援することができたことを誇りに思うと同時に、今年度もしっかりと最後まで頑張ろうと思わせてくれました。



6月～8月までの3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。

【順不同・敬称略】

青野千恵子、伊賀憲子、四国装備株式会社、今井里美、吳妙專、植村蓉子、岡田博子、岡田洋子、岡本洋功、奥谷照榮、片山績、亀山誠子、川崎多恵子、木村明仁子、久保智枝、清水純子、下地初子、白川ふみ、末澤一誠、田中酒店、田中りえ、俵恵美、塚田泰代、出原弥生、長尾美和子、中澤力、新田薰、沼田章、のぞみ総合法律事務所、福島美代子、堀美紀子、前田悦子、升崎里美、松原志乃、松本京子、松本崇臣、マンスフィールド雪江、三木佳子、美濃吉広、三原主幹、宮本明宜、森嶋かほる、戸脇恭子、山本博美、横田千春、吉本房子、若杉淳子



## SOS会員募集 (Secondhand Official Supporter)



教育支援・自立支援などの特定目的ではなく、セカンドハンドの活動を全般的に支えていただくSOS会員（賛助会員）制度があります。コロナ禍で、セカンドハンドの運営も厳しさを増しています。ぜひ応援をお願いします。

お申込みは同封の払込取扱票をご利用いただき、定額自動引落しもご利用いただけます。

※定額自動引落しをご希望の場合は、セカンドハンド事務局までお問い合わせください。

- ◆払込取扱票および定額自動引落でのお手続きの場合、皆様の手数料等のご負担はありません。
- ◆SOS会費は税法上の寄付金控除の対象となります。

	月々（1口）	一年一括（1口）
個人	1,000円	12,000円
法人	2,000円	24,000円
学生		3,000円

### 本部・高松店 年末年始休業：12/29(水)～1/3(月)

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間：月～金 10時～16時

定休日：土曜、日曜、祝日



### 片原町店 年末年始休業：12/31(金)～1/2(日)

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間：月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時

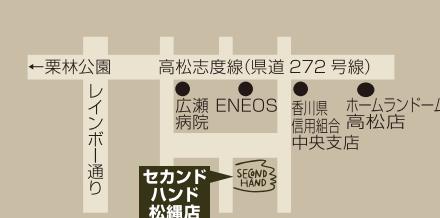
### 松縄店 年末年始休業：12/30(木)～1/3(月)

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間：平日11時～19時 土日11時～18時

定休日：木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています

## 公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928

✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



あなたの手を、世界の誰かに。

# Sambot

セカンドハンド通信

2021 October

Vol.

106

毎日たくさんの方が品物を提供して下さっています。衣類、食器、アクセサリー、本、日用品、雑貨など思い出の詰まった素敵な品をありがとうございます。ご自宅に使わなくなった品物が眠っていましたら、是非ご提供下さい! お店にお持ち込みいただいた品物は、お店番ボランティアが1点1点確認し、受け取らせていただいています。

※詳しくは別紙の「2021年改定版品物提供受付リスト」をご覧ください。



### Contents

- 子どもの自立支援
- チャリティーショップ
- Network
- Special Thanks
- お知らせ



## ホームランド バッタンバン州

前号での支援呼びかけ寄せられた皆様からのご寄付を、早速カンボジア現地NGO ホームランドへ送金しました。ホームランドスタッフが1家庭あたり米25kg(約2週間分)、砂糖1kg、塩1kg、魚醤2瓶、醤油2瓶、マスク1箱、洗濯石鹼1袋を購入し、支援する子ども達23家庭に配布しました。



ホームランドスタッフ  
ソムオンさん

世界で新型コロナウイルスが猛威をふるい、私達ホームランドが支援を行う子ども達の家庭でも、働き手である両親や兄姉の収入が激減し、幼い子ども達は日々の食事すらままならない生活が続いていました。しかし、この度日本の皆様からご支援頂いたお金で、子ども達へ食糧を届けることができました。

子ども達もしばらくの間は空腹を満たすことができそうです。ありがとうございました。  
私達が暮らす地域でも家庭内感染のケースが増えていますが、幸い支援をしている子ども達の中では感染者の確認はされていません。カンボジアではワクチンの接種が進み、ホームランドが支援をしている子ども達は、ほとんど接種が完了しました。しかし、まだまだ気を抜くことはできない状況ですので、引き続き手洗いの実施やマスクの着用をするよう子ども達に呼びかけています。一日でも早くこの状況が改善されることを願っています。



皆様から頂いたご寄付で、子ども達の家庭へ食糧を届けることができました。現在もお寄せ頂いている支援金は、準備ができ次第現地へ送金し、食糧支援へ充てさせていただきます。

カンボジアの財政がひつ迫したこのような状況が改善されるには、もう少し時間が必要だと考えています。セカンドハンドでは、引き続き食糧支援のための寄付金を募集していきます。ご協力頂ける方は払取扱票のメッセージ欄に「ホームランド食糧支援」とお書き下さい。



昨年度から支援をしているマラウイ共和国も、新型コロナウイルスにより学校が閉鎖され、経済活動が制限されるなどの影響が続いています。都市部ではオンライン授業を実施していますが、現地団体 OAU が支援する子ども達の学校では行われていません。マラウイでは約7割の子ども達が、小学校(8年制)を卒業せずに退学してしまいます。OAU は子ども達が退学しないようにサポートしていますが、外出自粛による活動制限で十分にサポートできない状態が続いています。外出自粛の影響で仕事を失った親も多くいるため、子ども達への食糧支援を継続しています。

マラウイの子ども達の支援にご協力いただける方は、払取扱票のメッセージ欄に「自立支援」とお書きください。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。



セカンドハンドからの支援のおかげで、子ども達にトウモロコシ等の食べ物を提供することができました。また、セカンドハンドからの支援金は幼稚園の運営や、給食のための農業活動にも使わせていただいています。皆様からの支援に感謝します。



## ボランティア紹介

鈴木省司さん(倉庫ボランティア歴4年)



●人の役に立てる  
5年前に東京から高松に越してきて、周りにどんなものがあるか探検していたら、セカンドハンドの看板が目に止まつたんです。あら、こんな田舎で全国ベースで内閣府から承認を得ている法人があるんだと思って。調べてみると、ボランティアを募集していることを知って、80を過ぎた私でも人の役に立てるのではないかと思って参加したのが始まりです。



●色々な事に対して活発的になりました。  
年をとつくると、時間はあるけど何をしたらいいか分からない。今日は暇だけどどこに行こうか?ちょっと図書館でも行ってみるか。ちょっと栗林公園行ってみるか。そういう風に行き当りばったりの日々を送っていました。でもボランティアを始めてから前よりもっと色々な事を活発的にするようになりました。週1・2回2時間程度の作業ですが、ボランティアを自分の生活の一項目として位置づけできたことがよかったです。

### ●充実感、心の支え、生きがい

自分の健康のためを思ってやっているから長続きしている部分はあると思います。また人の為になっている気持ちを持つと、充実感もありますし、生きていて樂です。80年の人生のうち、3年間をセカンドハンドで過ごしたことが心の支えになっています。どうしても年寄りになると人に厄介や迷惑はかけてしまうけど、そういうマイナスの面について考えるだけでなくて、多少なりとも自分も人助けの事業の一端を担っているという気持ちを持てるのが大きな生きがいです。自分が生きている価値は多少はあるんだなあと。誰しもが人助けがしたいという気持ちをどこかで持っていると思います。その気持ちを満たす機会がセカンドハンドにはあります。作業では色々なデザインの服や雑貨に触れることができてとても面白いのも続けられている理由ですね。